

金山大堰 散策マップ



めがね堰

⑥



街並み散策コース

所要時間
徒歩 25分

手打ちそば
700円

そば処 草々

八幡公園

⑤



長屋門

④



⑦

蔵史館

街並み交流広場

⑧



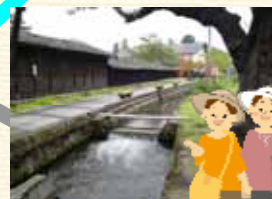
交流サロンぽすと

⑨



①

金山町役場



② 金山大堰

休憩所

③

イザベラバード記念碑



疏水とは？

川やため池などから水を引き、土地を切り開いて水路をつくること。疏水の多くは農業用水であり、食料の安定的な供給の基盤となっている。このほか、環境保全や保健休養、美しい景観の形成など様々な役割と歴史的価値を持っている。

13

イザベラバード記念碑 「日本奥地紀行」

1878年、今から133年前にイギリスの旅行家「イザベラバード」が金山を訪ね「日本奥地紀行」で紹介。金山三峰を指して日本のピラミッドであると記し、その美しさをたたえている。



「新庄から険しい尾根を越えて非常に美しい風変わりな盆地に入った。ピラミッド形の丘陵が半円を描いており、その山頂までピラミッド形の杉の林で覆われ、北方へ向かう通行をすべて阻止しているように見えた。その麓にロマンチックな雰囲気のある金山の町がある...」

水^み

土^ど

里^り

ウォーク

日本の「そすい疏水百選」

金山大堰

かねやまのおおぜき



風情漂う金山大堰

山形県の北東部に位置する金山町。福島から青森に延びる旧奥州街道の宿場町であり、イギリスの旅行家イザベラバードは「ロマンチックな雰囲気のある町」と評した。金山町は、この歴史と美しい街並みを継承するため景観条例を制定して、自然と調和する街並みづくりに力を入れている。

金山大堰は、金山町の中心を流れる、街の景観には欠かせないシンボリックな存在の水路である。戦国時代末期の1580年頃に開削され、城下村落の農業用水、宿場集落の生活用水として利用されてきた。現在でも農業用水として利用されているほか、地域の憩いの場や観光スポットとして新たな役割を担っている。

水路全体に雑割石が用いられていて景観がよく、街並みや沿道の植栽など重要な要素として周辺一帯が美しい散策コースとなっている。

平成18年には、日本の「疏水百選」にも認定されている。

